

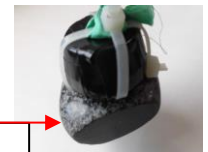
浜辺を歩いて探すと球体の石を見つけることができる。(通称)まん丸石



浜辺には色々な種類の石が落ちてる。
蛇紋岩、磨くと宝石になる(サーペンティン) 宝石拾い・・・糸魚川では、たまにヒスイを拾える。
メノウなども拾える浜もある。砂金は川だね。

砂岩のまん丸石(子宝石)

蛇紋岩(通称:よもぎ石) 硬度2.5~5.0 流紋岩のなかまの火成岩や変成岩などの扱いになる蛇紋岩、遺跡からこの石で作った石斧が出てくる。三保の蛇紋岩は安倍川からの大量の土砂で運ばれてきた。(中学生、理科学研究から) 蛇紋岩はろう石の仲間で熱水変質した岩で、何種類かの鉱物が混じってグループ名のひとつでサーペンティンという。アンチゴライト・クリソタイル・リザーダイトの3つに分類、ヘビの模様が特徴、石言葉(旅立ち・再生) 過度な緊張やストレスを和らげる手助けをしてくれる。変成岩:火成岩や堆積岩が熱や力で作りかえられた石、海岸で見られるきれいな石の中に多い。変成岩の中で宝石になっている石(ルビー・サファイア・エメラルド・ガーネットなど)



磁石につく金属は鉄とニッケルだけ。蛇紋岩は磁石につくので浜辺を磁石を転がして探した。

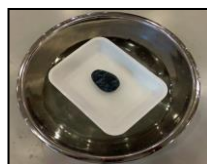
やわらかい石・・・滑石: 硬度1で柔らかいので、勾玉に利用、石筆(純粋な滑石と数種類の鉱物が混じって熱水処理されたろう石)(硬度1.5) 鉄やコンクリートの上に字が書ける。また、ろう石はてん刻に使う。昔の子どもは、駄菓子屋で買って、地面の上に絵を描いて遊んだ。今は、まが玉作り教室などで利用されてる



宝石の定義の一例: 鉱物又は有機物で装身具として使われ美しく希少で耐久性あるものの相称

勾玉・石筆(どちらも滑石)

蛇紋岩で方位実験



地球が磁石なのでゆっくり動く

まんまる石(相称)を作品にしてみた



卵のオブジェ
鳥の卵に見える? 何も生まれないけど

筆を使わずに空き箱の中を転がして色を塗った。偶然の色塗り(絵具を少し使う)

☆ ハチマキ石(相称)はハチマキをしめているように見える石・目だけをつけて目力のある顔にしてみよう。辛い時にも、これを見ればがんばれるように、自分の顔に近い石を使ってハチマキしめた自分作り。

まずは石を観察ハチマキの太さ、石の形、目以外の鼻や口は、石の表面の凸凹を探し、描かない。



自然物利用
手間暇かける、同じものは少ない。

選んだ石の大きさに合わせて目を配布、用意した目が希望通りにならない場合は、材料配布で、自作してもらう。